

# 人権擁護委員ってどんな人？

問い合わせ 自治振興課 ☎2145



人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され法務局と連携して、皆さんに人権について関心を持ってもらえるように啓発活動などを行っている人たちです。大竹市には、5人の人権擁護委員がいます。今年度も、人権週間（12月4日～10日）を中心に次のような活動を行いました。

## 人権教室

小学校での人権教室は、恒例となっています。今年は1年生を対象に人形劇「おおきなかぶ」と紙芝居「種をまこう」を題材に、人権について考えてもらいました。子どもたちからは、「みんなで力を合わせたら、一人ではできないこともできると思った」などの感想が聞かれました。松ヶ原こども館では、クリスマス会のプログラムの一つとして、こども館のスタッフと一緒に人形劇「おおきなかぶ」を行いました。未就学の小さな子どもとお母さんたちのたくさんのキラキラした目が印象的でした。



玖波小学校 人権教室の様子



大竹小学校 人権教室の様子



小方小学校 人権教室の様子



松ヶ原こども館 人権教室の様子

## 人権の花運動

毎年市内の小学校で、花を育てることを通して「命の大切さ」や「相手への思いやり」の心を育むことを目的に、この活動をしています。今年は玖波小学校の1年生にチューリップの球根を贈呈しました。



玖波小学校 人権の花運動の様子

このような啓発活動のほか、人権相談も重要な活動の一つとして行っています。毎年6月と12月に総合市民会館で開設する特設人権相談所や、広島法務局廿日市支局内にある廿日市人権擁護委員協議会で相談に応じています。

## 第35回全国中学生人権作文コンテスト

このコンテストは、中学生が人権問題についての作文を書くことを通して、豊かな人権感覚を身に付けることを目的として、法務省と全国人権擁護委員連合会が毎年実施しています。広島法務局廿日市支局と廿日市人権擁護委員協議会による廿日市地区大会では、大竹市から2作品が表彰されました。それぞれの学校で表彰状を授与された2人は、「中学校最後の良い思い出ができて良かった」、「春休みに、研修で沖縄に行ったことをきっかけに平和を願って書いた人権作文が、このような結果になってうれしい」と感想を聞かせてくれました。



小方中学校3年 宮本 昂樹さん



大竹中学校3年 岡 駿さん